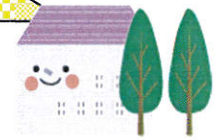


# れんけあニュース

連care news



～みんなで協力して患者さんや家族の生活を支えるまちづくりを目指して～

始良地区医師会 在宅医療推進地域支援事業ニュースレター

2014年6月26日発行 vol.6 p.1

## 1. 講演会等今後の予定のお知らせ

昨年度に引き続き、在宅医療・介護関係者・行政担当者等の方々を対象に講演会や意見交換会を開催致しますので、顔の見える関係を作っていく機会として、是非お誘い合わせの上、多数ご参加下さい。

### ○第3回在宅医療・介護・福祉連携推進研修会

日 時：平成26年7月19日（土） 午後2時～午後5時

場 所：隼人農村環境改善センター

講 演：「地域包括ケアシステムと在宅医療の位置づけ」

垂水市立医療センター垂水中央病院

在宅療養支援室 部長 池田 忠 先生

「高齢者総合的機能評価（CGA）の臨床応用とその意義」

垂水市立医療センター垂水中央病院

循環器内科 部長 桑波田 聡 先生



### ○始良郡三師会と訪問看護師との意見交換会・交流会

日 時：平成26年8月9日（土） 午後3時～午後5時30分

場 所：始良地区医師会館 ホール

内 容：在宅医療における三師会と訪問看護師との  
意見交換、グループワーク、交流会



## 2. 活動報告（5月）

### ● 推進チーム作業部会

#### テーマ「望ましい療養生活の姿」

○第6回作業部会 期 日：平成26年5月15日（木）18:30～

場 所：始良地区医師会館 会議室

★ 一人の患者さんを取り巻く支援者や場所が一目でわかるイメージ図をもとに事例検討してみると、資源が少ないと思われた地区でも、往診等により医療の提供もできており、また介護施設や家族・近所の方々の支援によりケアも満足されている状況。サービスをつなぐためには、対象の方の1日の生活の流れを把握し、問題や課題を明確にした上で図を作成する。



## テーマ「入退院時のスムーズな連携」



- 第5回作業部会 期 日：平成26年5月20日（火）19:00～  
場 所：始良地区医師会館 会議室
- 第1回小作業部会 期 日：平成26年5月27日（火）19:00～  
場 所：始良地区医師会館 会議室

★ 連携ツール「介護支援連携指導票」と「入院時情報提供書」について検討。「介護支援連携指導票」で指導料を算定するにはケアマネの来院とケアプランが必要。退院後に利用が予測されるサービス内容の欄を追加し、どのようなサービスが利用できるのか患者さんやご家族に知ってもらおう。



「入院時情報提供書」については、書式に関する細かい規定はない。入院前のADL情報を記入することで退院後の目標設定を立てやすい。家族等の連絡先はキーパーソン、主介護者、決定権を持つ人に分け、連絡をする優先順に記入できるようにする。

次回の作業部会で一旦書式の確定をし、マニュアルを作成する。いくつかの医療機関、事業所に試行的に数ヶ月間利用してもらい、追加・修正を加えて最終的な書式として確定する。

# ● 事業運営委員会

- 第6回事業運営委員会 期 日：平成26年5月30日（金）19:00～  
場 所：始良地区医師会館 会議室

★ 3つの推進チーム作業部会チームリーダーより現状と課題の報告。  
【チーム吉満】では、一人の医師の活動可能範囲や対応可能な医療行為の把握、主治医不在時の連携体制の構築、急変時・退院時の医師との連携・調整役との意見交換会の開催などを今後取り組む方向。



【チーム前田】は連携ツール(書式)を作成中で医療機関と各施設が入退院時に必要な情報を整理し、スムーズな連携を推進する。今後はマニュアルを作成しモデル機関に試行的に使用してもらい、最終的な評価としては、算定した点数が始良地区でどの位増えたかを見ていく。

【資源と体制発掘チーム】は一人の対象者を中心にしてどのような資源が取り巻いているのかを分かり易く図に示したものと、医療機関の指導及び対応可能な処置一覧や行政の窓口、介護・福祉施設一覧などを冊子にまとめたものの2種類を作成する予定。現在地域包括ケアに関する資源の情報など幅広い内容となっているため、在宅医療に関する情報に焦点をあて、掲載内容を絞っていく必要がある。また、事業運営委員会の各専門部会で、研修会の企画・立案や住民の方々への広報ツールの検討を行う。サロンや健康講話で在宅医療についての広報・啓発活動をする際に、先生方に使っていただくスライドを委員会で作成する。

# 3. 講演会等開催報告

## ○在宅医療従事者に対する多職種連携研修会

日 時：平成26年4月23日（水）午後7時～ 於：始良地区医師会館ホール  
講 演：『看取る人と看取られる人～医療チームに参加した僧侶の経験～』  
浄土真宗本願寺派善福寺 住職 長倉伯博氏  
参加者数：47名



## ○平成26年度 始良・伊佐地区老人福祉施設協議会施設長会

日 時：平成26年5月7日（水）午前10時～  
場 所：かごしま空港ホテル  
講 演：『地域で生きる為に在宅医療ができること』  
吉満内科クリニック 院長 吉満 彰 先生  
参加者数：108名



住み慣れた地域で安心して暮らし続けるために、医療・介護・福祉の提供に関連する多くの機関が手を取り合って地域住民主体の暮らしを支えていけるようご協力をお願い致します。

### 【在宅医療推進連絡協議会事務局】

公益社団法人始良地区医師会事務局内  
〒899-5106 鹿児島県霧島市隼人町内山田 1-6-62  
TEL：0995-42-1205 FAX：0995-43-2044



### 3. 活動報告(6月)

#### ● 推進チーム作業部会

##### テーマ「入退院時のスムーズな連携」

○第3回作業部会 期 日：平成26年6月18日(水) 19:00～

場 所：始良地区医師会館 会議室

- ★ 連携ツール「介護支援連携指導票」のマニュアルについて検討。指導票については「入力用」と、内容をチェック項目にした「手書き用」の2種類を作成し医師のサイン欄を追加する。また、「入院時情報提供書」と併せて委員の方からいくつかの医療機関・居宅介護支援事業に試行的に使用をお願いする。



##### テーマ「望ましい療養生活の姿」

○第3回作業部会 期 日：平成26年6月19日(木) 18:30～

場 所：始良地区医師会館 会議室

- ★ マップ(地図状)のものにこだわらず、「在宅医療資源リスト」を作成する。今まで集めた情報を医師会の事業で作成することを軸として絞り込んでいく必要があり、インフォーマルな資源の情報については今後検討していくことになりました。



#### ● 事業運営委員会

- ★ 事業運営委員会を3つのテーマごとに検討会立ち上げ検討する。

##### ○第2回事業運営委員会【教育・研修(スキルアップ)】検討会

期 日：平成26年6月20日(金) 19:30～

場 所：始良地区医師会館 会長室



多職種間の連携体制を構築し、在宅医療を推進するための研修会について検討。まずは三師会と訪問看護ステーション看護師のお互いの理解を深めるため研修会・交流会を8月9日(土)に開催。各職種からの発表後、グループワークをし、交流会で親睦を深める。今後三師会と地域連携室、三師会とケアマネジャーと開催する予定。また、看護師研修や民生委員研修会も共催で開催。また、地域住民への普及・啓発のための講演会も各市町と協議して開催する。

##### ○第3回事業運営委員会【広報・啓発】検討会

期 日：平成26年6月24日(火) 19:00～

場 所：始良地区医師会館 会長室

地域のサロンや健康講話等で医師が使用する在宅医療の啓発のための10分間程度のスライドを作成する。内容としては在宅医療の事業の概要と事例を盛り込み高齢者にも分かり易いものにする。

また、イベントや講演会開催時に配布するパンフレットも作成。スライドと内容をリンクしたもので、A3用紙1枚のものと、A4の冊子状のものを作成する予定。次回は事例を持ち寄り、各種サービスを利用した場合の利用料も併せて検討する。



住み慣れた地域で安心して暮らし続けるために、医療・介護・福祉の提供に関連する多くの機関が手をとり合って地域住民主体の暮らしを支えていけるようご協力をお願い致します。

#### 【在宅医療推進連絡協議会事務局】

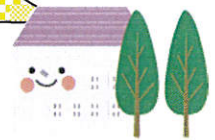
公益社団法人始良地区医師会事務局内

〒899-5106 鹿児島県霧島市隼人町内山田1-6-62

TEL: 0995-42-7161 FAX: 0995-43-2044

# れんけあニュース

連care news



～みんなで協力して患者さんや家族の生活を支えるまちづくりを目指して～

始良地区医師会 在宅医療推進地域支援事業ニュースレター

2014年8月30日発行 vol.8 p.1

## 1. 始良郡三師会と訪問看護師との研修会・交流会を開催しました！

平成26年8月30日（土）午後3時～午後5時30分まで始良地区医師会館ホールにおいて標記研修会・交流会を開催致しました。

当初8月9日に開催する予定でしたが、台風接近のため延期したにも関わらず、60名の参加を頂き、盛会裏に開催されました。

当日は医師会代表として岩谷真宏副会長より「始良地区の訪問診療の現況」、歯科医師会代表として尾畑俊和先生より「お口いきいき診療連携システム」、薬剤師会代表として岩切大輔先生より「薬剤師による在宅訪問」、訪問看護ステーション代表として梅田香代様より「訪問看護師ができること～住み慣れた地域で安心して暮らすために～」と題して10分間ずつ各団体における在宅医療に係る現況の報告をして頂きました。

その後、8グループに分かれて「地域の在宅医療に関する困りごと・他職種の方をお願いしたいこと」などについてグループワークを行い活発な意見交換が行われました。

交流会ではグループワークで話足りなかったことや他のテーブルの方々とも名刺交換をしながら和気藹々とお話し頂き、連携を図る上で大変実りのある会となりました。

今後も、他の職種の方々とも交流を図る研修会を開催したいと考えておりますので、その際は是非ご参加下さいませようお願い致します。



## 2. 講演会等のお知らせ



### ○鹿児島県医師会 第3回関係職種の技術向上のための研修会

在宅療養に必要な医療機器の取り扱いに不安を感じていらっしゃいませんか？

今回県医師会で在宅療養での医療機器の取り扱いについて講演会が開催されますので是非ご参加下さい。

日 時：平成26年9月17日（水） 午後2時～午後3時30分

場 所：鹿児島県医師会館 3階 中ホール1

対 象 者：看護職、介護職、その他関係職種

講 演：「在宅医療での医療機器・ガスの安全確保について」

鹿児島県臨床工学技士会 肝属郡医師会立病院 臨床工学技士 桐原祐成 先生

※ 問い合わせ 鹿児島県医師会在宅医療推進支援室（TEL：099-254-8121）



### 3. 活動報告 (7月)

#### ● 推進チーム作業部会

##### テーマ「入退院時のスムーズな連携」



○第4回作業部会 期日：平成26年7月11日(金) 19:00～  
場所：始良地区医師会館 会議室

★ 連携ツール「介護支援連携指導票」と「入院時情報提供書」の試行方法について協議。

試行期間は8月1日から10月31日迄の3ヶ月間を目途として、必要があれば延長し、来年4月から本運用する。

また、試行機関は医療機関7カ所、居宅介護支援事業所12

カ所にお願ひし、使用した感想や使用件数、連携に役立ったかななどをアンケートでお伺いする。



#### ● 事業運営委員会

##### ○第4回事業運営委員会・第2回推進チーム連絡会

期日：平成26年7月22日(火) 19:00～

場所：始良地区医師会館 会議室

★ 各推進チーム作業部会のリーダーより、現状の報告と課題について報告。「入退院時のスムーズな連携」作業部会においては現在作成した連携ツールの試行について、最終的なものを1月までに完成させ、4月からの本運用に向けて取り組むこと、「望ましい療養生活の姿」作業部会においては資源リストの作成にあたり、現在話し合いの中で発掘した資源の整理や情報の更新についてなど、今後の取り組みへの課題について報告がありました。今回の報告を受けて各作業部会において更に検討・協議して多職種間の連携や情報共有に役立つツールやマップ(リスト)の作成に向け、成果を上げて行くことになりました。



##### ○第5回事業運営委員会【広報・啓発】検討会

期日：平成26年7月24日(木) 19:00～

場所：始良地区医師会館 会長室

★ 地域のサロンや健康講話等で使用する在宅医療の啓発のための10分間程度のスライドとパンフレットの作成について検討。

今回は持ち寄った事例を基に、住民の目線に合わせより見やすく理解しやすいものにしていくことや、事例については個人が特定されないように注意しながらスライドの内容について協議。

イベントや講演会開催時に配布するパンフレットはスライドと内容をリンクしたものを作成する予定で、次回までにいくつかの業者に見積もりを依頼し、形になったものについて校正する予定。



#### ● 推進連絡協議会



##### ○第1回在宅医療推進連絡協議会

期日：平成26年7月29日(火) 19:00～

場所：始良地区医師会館 ホール

★ 今回は在宅医療の好事例として、寝たきり・ADL 全介助・胃ろう・要介護5で入院されていた方が在宅での多職種連携により歩けるようになり、食事も口から摂れ、庭の草取りまでできるほどお元気になられた事例をご本人とご家族と訪問看護ステーション室長より報告。また、推進チームの作業部会チームリーダーより活動の進捗状況を報告して頂き、今年度の計画について委員の方々へご説明し、意見交換を行いました。その中で、歯科医師会でもツールを作成中であり、今後連携して事業の推進を図ること、また、認知症についても検討が必要であり、民生委員の方々を始め多職種の方々の今後更なるご協力方をお願いしました。



住み慣れた地域で安心して暮らし続けるために、医療・介護・福祉の提供に関連する多くの機関が手を取り合って地域住民主体の暮らしを支えていけるようご協力をお願い致します。

【在宅医療推進連絡協議会事務局】

公益社団法人始良地区医師会事務局内

〒899-5106 鹿児島県霧島市隼人町内山田1-6-62

TEL : 0995-42-7161 FAX : 0995-43-2044



～みんなで協力して患者さんや家族の生活を支えるまちづくりを目指して～

始良地区医師会 在宅医療推進地域支援事業ニュースレター

2014年9月29日発行 vol.9 p.1

## 1. 三師会と訪問看護師との研修会・交流会 ～アンケート集計から～

去る平成26年8月30日（土）始良地区医師会館ホールにおいて開催致しました標記研修会・交流会について、前号で概要を報告したところですが、今号では参加者の皆さま方にお願ひしたアンケートの集計結果をご報告致します。

参加者の約90%の方にお答え頂いたなかで、『各職種との交流が十分にできましたか』という項目においては94%の方が『できた・まあまあできた』、『在宅医療における各職種の役割や活動内容について理解が深まりましたか』という項目では98%の方々『深まった・まあまあ深まった』という回答を頂きました。

また、『今後各種研修会ではどのような形式を希望しますか（複数可）』という項目で一番多かったのが『グループワーク（42%）』『事例検討会（29%）』『交流会・名刺交換会（17%）』『講義形式（12%）』という結果となり、皆さん直接話し合いをして、顔の見える関係づくりのできる形式を希望されているので、今後の研修会の計画に活かしていこうと思います。

自由記載では『拠点病院の医師の在宅医療への参加が必要』『チームでの連携が重要であると再認識できた』『今後相談しやすくなった』『各職種が在宅で行える内容をもっと詳しく知りたい』などたくさんのご意見を頂き、大変有意義な研修会となりました。

「〇〇なことがあるけど、〇〇に頼めるの？」  
～それぞれの職種への相談事～

● 例えば・・・

医師	・今後起こりそうな症状とその対処法、受診時の病状に関する情報 ・内科以外の疾患への対応（皮膚科、眼科、整形外科、耳鼻科など） ・夜間往診が多くなるのが心配
歯科医師	・入れ歯があわない ・口臭がある ・全身疾患との関連 ・歯のケア
薬剤師	・併用禁忌 ・溶かし方 ・苦い薬、大きい薬の飲ませ方 ・服薬指導
訪問看護師	・胃ろう ・リハビリ ・福祉用具の活用 ・介護者の心のケア ・他職種との連絡調整

## 2. 講演会等のお知らせ

### ○平成26年度第1回活動報告会

平成26年度上半期の県医師会・実践医師会の地域での取り組みを発表致します。是非ご参加下さい。

日時：平成26年10月16日（木）18:20～20:30

場所：鹿児島県医師会館 4階 大ホール

対象者：医師会関係者、医療介護従事者、行政職員等

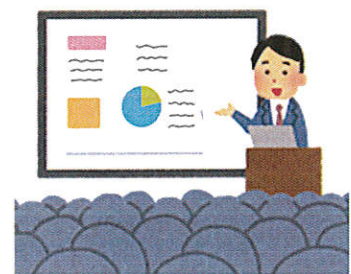
基調講演：「在宅医療推進のこれまでと今後」

国立長寿医療研究センター 在宅連携医療部  
部長 三浦久幸先生

活動報告：(1) 鹿児島県医師会

(2) 5実践医師会（大島郡医師会、曾於医師会、始良地区医師会、薩摩郡医師会、いちき串木野市医師会）

(3) 肝属郡医師会立病院



※ 問い合わせ 鹿児島県医師会在宅医療推進支援室（TEL：099-254-8121）

### 3. 活動報告 (8月)

#### ● 推進チーム作業部会

##### テーマ「入退院時のスムーズな連携」

○第5回作業部会 期日：平成26年8月20日（水）19:00～  
場所：始良地区医師会館 会議室

- ★ 連携ツール「介護支援連携指導票」と「入院時情報提供書」を8月1日より医療機関7カ所、居宅介護支援事業所12カ所で試用をお願いしているが、使用してみたの感想や使用件数、連携に役立ったかなどをアンケート調査し、結果を作業部会で検討しました。

「介護支援連携指導票」は10月まで現行の書式のまま、「入院時情報提供書」は今回一部修正を加え次回は10月末に再度アンケートで使用感想と点数が取れたかの調査を行う予定。



##### テーマ「望ましい療養生活の姿」

○第5回作業部会 期日：平成26年8月21日（木）18:30～  
場所：始良地区医師会館 会議室

- ★ 医療を中心として資源を整理するため、民生委員名簿や福祉車両、給食・配食サービスなどは掲載しないことになりました。今後は情報の掲載順番などを二市一町揃える作業や在宅診療可能な医療機関ヘリストに掲載して良いかアンケート調査し、完成したものを「入退院時のスムーズな連携」作業部会で連携書式を試用して頂いている医療機関・居宅介護支援事業所に同様に試用頂く。



#### ● 事業運営委員会

##### ○第6回事業運営委員会【広報・啓発】検討会

期日：平成26年8月12日（火）19:00～  
場所：始良地区医師会館 会長室

- ★ 住民啓発パンフ、スライドのアウトラインの確認として  
①在宅医療とは②どのようなサービスが受けられるのか③長所④医療費の助成について⑤事例⑥概念（図式化）⑦相談窓口の内容でまとめ、事例は認知症・ターミナル・医療が必要な退院・レスパイト・歯科・薬剤・老老介護の7つの事例をどこに相談し、どう解決したかの流れで作成することになり、次回は業者の方にも検討会に参加して頂き、早期完成を目指すことになりました。



#### ● 県医師会第2回在宅医療推進研修会

期日：平成26年8月5日（火）18:30～  
場所：鹿児島県医師会館 4階 大ホール

- ★ 吉満内科クリニック院長の吉満彰先生より在宅医療症例報告の発表があり、多職種が連携することにより訪問看護ステーションや介護部門のない診療所でも在宅医療が可能であること、家族・訪問看護・訪問介護との緊密な関係を築くことで緊急事態を回避でき、後方支援病院との連携が必要不可欠であること、今後は中学校単位で数カ所のモデルケースを立ち上げ、徐々に繋いでいくことで在宅医師の負担の軽減に繋がってほしいとのことのお話でした。

吉満先生の報告の後、『静岡県医師会における在宅医療の取り組み～かかりつけ医と多職種協働～』と題して静岡県医師会長の篠原彰先生のご講演がありました。静岡県医師会は在宅医療推進事業の先進医師会であり、既にICTを活用した連携ネットワークシステムの構築と運用をされていて、システムのメンバーになれば共有の必要な患者情報が主治医だけでなく、担当施設が相互に情報共有できているとのことでした。また、関係職種の方々に「かかりつけ医に期待すること」についてアンケート調査を実施されており、当地区で課題にも挙げられているような医師に関係職種の仕事を理解し、チームの一員として話し合いにも参加して欲しい等の要望があったとの報告がありました。



住み慣れた地域で安心して暮らし続けるために、医療・介護・福祉の提供に関連する多くの機関が手を取り合って地域住民主体の暮らしを支えていけるようご協力をお願い致します。

【在宅医療推進連絡協議会事務局】

公益社団法人始良地区医師会事務局内

〒899-5106 鹿児島県霧島市隼人町内山田1-6-62

TEL：0995-42-7161 FAX：0995-43-2044



# れんけあニュース

連care news



～みんなで協力して患者さんや家族の生活を支えるまちづくりを目指して～

始良地区医師会 在宅医療推進地域支援事業ニュースレター

2014年10月29日発行 vol.10 p.1

## 1. 県医師会第1回活動報告会で事業の上半期報告をしました

平成26年10月16日(木)午後6時20分より鹿児島県医師会館大ホールにおいて本年度上半期の活動報告会が開催されました。

当日は活動報告の前に、国立長寿医療研究センター在宅連携医療部 部長の三浦久幸先生より「在宅医療推進のこれまでと今後」と題し、平成23・24年度実施された在宅医療連携拠点事業(モデル事業)から、全市区町村が地域支援事業として平成30年度より実施する、医療・介護連携推進地域包括ケア構築に向けての取り組みに関してご講演されました。

その中でも、中立的な立場で関係者の調整をすることができる市町村等と専門職への働きかけを得手とする郡市医師会等が協力し連携することで、在宅医療の提供を点から面へと展開できるとお話しされたことが印象的でした。

5実践医師会の報告では、それぞれの地域での特徴ある活動や成果が発表され、良くできている点や苦慮している点など試行錯誤しながら取り組んでいる様子がうかがえました。

また、活動報告発表後の三浦先生の講評では、「今、国では二次医療圏での退院支援ルールを作成中ですが、鹿児島は先進的にできていて素晴らしい。」とのお言葉を頂きました。

今後も三師会・行政・関係団体の方々と連携しながら本事業に取り組んで参りますので、ご協力方宜しくお願い申し上げます。



## 2. 始良地区医療協議会第1回研修会

平成26年10月27日(月)午後7時より加音ホールにおいて、平成26年度始良地区医療協議会第1回研修会が地区医療協議会並びに始良地区医師会在宅推進地域支援事業と始良郡歯科医師会在宅歯科医療連携体制整備事業との共催で開催されました。

当日は142名参加のもと、講師の鹿児島共済会 南風病院 緩和ケア内科部長で元始良市立北山診療所長の毛利通宏先生に「地域医療(外来と在宅)に取り組んで」～我々は果たして住民に満足を与えているのだろうか そうでなければ役に立つ医療従事者になろう～と題してご講演頂きました。

「医療は社会のニーズで変容し、医療従事者の有りようもそれに呼応する。地域医療・福祉の現場には地域差があり、それぞれ独自の創意工夫が必要で、そこから生まれるルールを行政が法制化することが大事である。」とお話し頂きました。



### 3. 活動報告(9月)



vol.10 p2

#### ● 推進チーム作業部会

##### テーマ「24時間連携のための看取りや急変時の体制」

○第1回作業部会 期日：平成26年9月17日(水) 19:00～  
場所：始良地区医師会館 会議室



- ★平成25年度実施した意識調査の未回答医療機関に再度アンケートの依頼をし、現在138施設(回収率87%)より回答を頂きました。そのうち、何等かの形で訪問診療可能と回答頂いたのが68施設あったことから、できるところから連携をし、そこで地域の多職種によりチームをつくり在宅医療提供体制を整えていくことが望ましいのではということになりました。

##### テーマ「望ましい療養生活の姿」

○第5回作業部会 期日：平成26年9月12日(金) 17:30～  
場所：始良地区医師会館 会長室



- ★資源リストの掲載情報について、書式のレイアウトや情報内容について打ち合わせを行いました。レイアウト等に関する協議ということで今回は医師を除いた行政・地域包括支援センターの委員の方々にお集まり頂き協議致しました。  
前回の作業部会では次回の作業部会を9月18日(木)に開催予定としておりましたが、情報内容の整理に時間を要するため、10月1日(水)に日程変更となりました。

#### ● 事業運営委員会

○第7回(9/11)・第8回(9/30)

事業運営委員会【広報・啓発】検討会

期日：平成26年9月11日(木) 19:00～

期日：平成26年9月30日(火) 19:00～

場所：始良地区医師会館 会議室



- ★9月11日の検討会では、業者にパンフレットの叩き台を作成頂き、委員で内容を検討致しました。文章表現に統一性を持たせ、分かり易い文言に変更し、ホームページにもパンフレットの閲覧用と印刷用の2種類を載せるように今後検討していくことになりました。  
9月30日の検討会では前回の訂正箇所の確認とレイアウトについて再検討しました。表紙は認知症サポートの象徴カラーであるオレンジを基調とし、その他イラストの色使いや図の構成について検討しました。また、内容が重複している箇所を削除し、「どの様な方が在宅医療を受けられるの？」という内容に差し替えることになりました。

#### ● 在宅医療推進事業説明会



○霧島市老人クラブ連合会「長寿大学」における  
在宅医療説明会

期日：平成26年9月18日(木) 13:30～

場所：霧島保健福祉センター健康指導室(霧島田口)



- ★始良郡歯科医師会の奥会長より本事業と在宅歯科医療連携体制整備事業についての説明と「歯科医師とのつきあい方～お口の健康を保つために～」と題し口腔ケアと全身疾患の関係性、在宅でできる歯科診療、生涯付き合えるかかりつけ医を持つ重要性やケアグッズの説明等ご講演頂きました。

○隼人地区民生委員児童委員協議会「定例会」における在宅医療推進地域支援事業研修会

期日：平成26年9月18日(木) 13:40～

場所：霧島市商工会館2階会議室

- ★始良地区医師会訪問看護ステーション上室長が、民生委員の方々に対して本事業の取組みの説明と在宅医療の重要性、地域の支えや見守りの必要性などを在宅医療の事例を交えて話されました。

住み慣れた地域で安心して暮らし続けるために、医療・介護・福祉の提供に関連する多くの機関が手をとり合って地域住民主体の暮らしを支えていけるようご協力をお願い致します。

【在宅医療推進連絡協議会事務局】

公益社団法人始良地区医師会事務局内

〒899-5106 鹿児島県霧島市隼人町内山田1-6-62

TEL : 0995-42-7161 FAX : 0995-43-2044